



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月30日
上場取引所 東

上場会社名 芝浦機械株式会社
 コード番号 6104 URL <https://www.shibaura-machine.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 坂元 繁友
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 青木 稔 TEL 055(926)5072
 四半期報告書提出予定日 2020年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	20,245	△21.3	39	—	△42	—	△500	—
2020年3月期第1四半期	25,715	3.2	△388	—	△401	—	△441	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △178百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △997百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△20.75	—
2020年3月期第1四半期	△18.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	140,343	82,814	59.0
2020年3月期	154,283	87,018	56.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 82,814百万円 2020年3月期 87,018百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	42.50	—	42.50	85.00
2021年3月期 (予想)	—	37.50	—	37.50	199.30

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2020年3月期の第2四半期末および期末の配当金には、それぞれ記念配当5円00銭を含んでおります。

3. 2020年6月1日に公表いたしました「剰余金の配当（特別配当）に関する決定事項のお知らせ」のとおり、2020年6月30日を基準日として総額2,999百万円（1株当たり124円30銭）の特別配当を予定しており、上表合計には特別配当124円30銭を含んでおります。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	42,000	△29.5	△2,200	—	△3,000	—	△3,000	—	△124.30
通期	92,000	△21.2	△1,400	—	△2,400	—	△2,600	—	△107.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	29,977,106株	2020年3月期	29,977,106株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	5,842,004株	2020年3月期	5,841,960株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	24,135,135株	2020年3月期1Q	24,135,441株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10
3. その他	11
(1) セグメント別受注高・売上高・受注残高	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①2021年3月期 第1四半期連結累計期間の概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、国際的な通商問題長期化の影響に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、急速に収縮しました。わが国経済も世界経済減速の影響を受けて、輸出や生産に悪化が見られました。

当社グループが属する機械業界につきましても、国内外で自動車関係を中心に設備投資に対して消極的な姿勢が継続し、厳しい事業環境となりました。

このような経済環境のもとで、当社グループは中期経営計画である「経営改革プラン」に基づき、高収益企業への変革に向けて、組織再編を中核とした経営改革、成長分野に対応した投資の推進、資本効率（ROE）の向上を目指した財務戦略の実行に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の受注高は、新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより設備投資に慎重な動きが見られたことから、125億9千6百万円（前年同期比55.7%減）、売上高は202億4千5百万円（前年同期比21.3%減）となりました。損益につきましては、営業利益は3千9百万円（前年同期は営業損失3億8千8百万円）、経常損失は4千2百万円（前年同期は経常損失4億1百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は5億円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失4億4千1百万円）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）セグメント情報」の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

②セグメント別の概況

成形機事業（射出成形機、ダイカストマシン、押出成形機など）

射出成形機およびダイカストマシンにおきましては、国内外で自動車向けを中心とした設備投資が引き続き軟調に推移し、販売と受注が減少いたしました。

押出成形機におきましては、販売は中国の二次電池向けシート・フィルム製造装置が減少したものの、国内の光学用シート・フィルム製造装置が増加いたしました。受注は国内の食品容器および光学用シート・フィルム製造装置が減少いたしました。

この結果、成形機事業全体の受注高は81億7千8百万円（前年同期比55.7%減）、売上高は129億4千4百万円（前年同期比23.1%減）、営業利益は3億1千6百万円（前年同期比111.8%増）となりました。

工作機械事業（大型機、門形機、横中ぐり盤、立旋盤、精密加工機など）

工作機械におきましては、販売は主に国内の建設機械向けが減少いたしました。受注は国内、北米の産業機械向けおよび建設機械向けが減少いたしました。

精密加工機におきましては、販売は中国の光学系金型向けが堅調に推移いたしました。受注は中国、台湾の光学系金型向けが減少いたしました。

この結果、工作機械事業全体の受注高は25億6千8百万円（前年同期比65.8%減）、売上高は52億5百万円（前年同期比23.3%減）、営業損失は2億5千8百万円（前年同期は営業損失1億4千6百万円）となりました。

制御機械事業（産業用ロボット、電子制御装置など）

制御機械におきましては、中国の電子デバイス・スマートフォン等の組立自動化設備向けは堅調に推移したものの、国内は設備投資の先送りなどを受けて、販売と受注が減少いたしました。

この結果、制御機械事業全体の受注高は14億3千万円（前年同期比20.5%減）、売上高は16億3千2百万円（前年同期比2.1%減）、営業損失は1千3百万円（前年同期は営業損失1億3千8百万円）となりました。

その他の事業

その他の事業全体の受注高は4億2千万円（前年同期比38.0%減）、売上高は4億6千2百万円（前年同期比6.2%増）、営業損失は2千4百万円（前年同期は営業損失3億5千万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ139億4千万円減少し、1,403億4千3百万円となりました。減少の主な内訳は、現金及び預金が70億4千5百万円、受取手形及び売掛金が64億4千8百万円減少したこと等によります。

負債は、前連結会計年度末に比べ97億3千5百万円減少し、575億2千9百万円となりました。減少の主な内訳は、支払手形及び買掛金が25億1千4百万円、未払法人税等が70億8千2百万円、未払費用が29億7千万円減少したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ42億4百万円減少し、828億1千4百万円となりました。減少の主な内訳は、剰余金の配当により利益剰余金が減少したこと等によります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は59.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間および通期の業績につきましては、2020年5月27日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,907	40,862
受取手形及び売掛金	36,064	29,616
有価証券	104	149
商品及び製品	9,052	8,979
仕掛品	26,877	26,924
原材料及び貯蔵品	67	66
その他	2,340	1,796
貸倒引当金	△49	△49
流動資産合計	122,364	108,346
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	39,014	38,910
減価償却累計額及び減損損失累計額	△28,429	△28,477
建物及び構築物（純額）	10,584	10,432
機械装置及び運搬具	24,224	24,193
減価償却累計額及び減損損失累計額	△22,073	△22,058
機械装置及び運搬具（純額）	2,151	2,135
土地	7,049	7,056
リース資産	240	251
減価償却累計額及び減損損失累計額	△150	△149
リース資産（純額）	89	101
建設仮勘定	135	230
その他	7,327	7,224
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,797	△6,720
その他（純額）	529	503
有形固定資産合計	20,541	20,460
無形固定資産		
その他	561	533
無形固定資産合計	561	533
投資その他の資産		
投資有価証券	6,560	6,906
長期貸付金	13	10
繰延税金資産	3,142	2,940
その他	2,149	2,196
貸倒引当金	△1,048	△1,049
投資その他の資産合計	10,816	11,003
固定資産合計	31,918	31,997
資産合計	154,283	140,343

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,279	18,765
短期借入金	10,090	10,340
未払法人税等	7,218	136
未払費用	5,351	2,381
賞与引当金	—	874
製品保証引当金	720	688
前受金	6,403	5,406
その他	1,941	5,501
流動負債合計	53,006	44,094
固定負債		
長期借入金	4,300	4,050
長期末払金	5	10
繰延税金負債	2	0
役員退職慰労引当金	41	39
退職給付に係る負債	9,770	9,186
資産除去債務	52	52
その他	85	93
固定負債合計	14,258	13,434
負債合計	67,264	57,529
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,484	12,484
資本剰余金	11,538	11,538
利益剰余金	77,359	72,833
自己株式	△16,376	△16,376
株主資本合計	85,006	80,479
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,334	2,580
繰延ヘッジ損益	0	9
為替換算調整勘定	843	860
退職給付に係る調整累計額	△1,165	△1,115
その他の包括利益累計額合計	2,012	2,334
純資産合計	87,018	82,814
負債純資産合計	154,283	140,343

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	25,715	20,245
売上原価	18,497	14,168
売上総利益	7,218	6,076
販売費及び一般管理費	7,606	6,036
営業利益又は営業損失(△)	△388	39
営業外収益		
受取利息	14	16
受取配当金	122	110
為替差益	—	14
受取賃貸料	12	11
その他	46	64
営業外収益合計	196	216
営業外費用		
支払利息	20	20
商標使用料	24	0
為替差損	37	—
持分法による投資損失	87	—
業務委託費用	—	94
その他	40	183
営業外費用合計	209	299
経常損失(△)	△401	△42
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産処分損	21	23
特別退職金	—	265
特別損失合計	21	288
税金等調整前四半期純損失(△)	△422	△331
法人税、住民税及び事業税	132	74
法人税等調整額	△113	95
法人税等合計	18	169
四半期純損失(△)	△441	△500
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△441	△500

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△441	△500
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△95	246
繰延ヘッジ損益	△0	9
為替換算調整勘定	△475	16
退職給付に係る調整額	26	50
持分法適用会社に対する持分相当額	△10	—
その他の包括利益合計	△555	322
四半期包括利益	△997	△178
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△997	△178
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症（以下「本感染症」といいます。）の感染拡大は、経済、企業活動に広範な影響を与える事象であり、主な得意先である自動車メーカー各社は生産調整等を行っていることから、当社グループの事業活動に影響を及ぼしております。また、本感染症拡大の収束時期等を予想することは困難であることから、繰延税金資産の回収可能性や減損損失の判定においては、連結財務諸表作成のための入手可能な情報に基づき、当連結会計年度の一定期間に渡り影響が生じるとの一定の仮定のもと、最善の見積りを行っております。なお、一定の仮定としては、当連結会計年度の第2四半期までに本感染症の影響が収束し、第3四半期以降は徐々に通常の事業活動が行えることを前提としておりますが、今後の状況の変化によって前提を見直した結果、当連結会計年度の連結財務諸表において重要な影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2019年4月1日至2019年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	成形機	工作機械	制御機械	計				
売上高								
外部顧客への売上高	16,828	6,784	1,667	25,280	435	25,715	—	25,715
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	573	574	181	755	(755)	—
計	16,828	6,784	2,240	25,854	617	26,471	(755)	25,715
セグメント利益 又は損失(△)	149	△146	△138	△135	△350	△485	97	△388

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、材料加工、環境測定等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	成形機	工作機械	制御機械	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,944	5,205	1,632	19,782	462	20,245	—	20,245
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5	392	398	115	513	(513)	—
計	12,944	5,210	2,024	20,180	577	20,758	(513)	20,245
セグメント利益 又は損失(△)	316	△258	△13	45	△24	20	19	39

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、材料加工、環境測定等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間の期首に、経営効率及び収益性向上を図るため、カンパニー制の採用を伴う組織再編を実施いたしました。この組織再編に伴って、産業用ロボット及び電子制御装置事業を従来の「その他」セグメントから「制御機械」セグメントに変更しています。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

当社は、2020年7月30日開催の取締役会において、下記のとおり、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分（以下「本自己株式処分」といいます。）を行うことについて決議いたしました。

1. 処分の概要

(1) 払込期日	2020年8月17日
(2) 処分する株式の種類及び数	当社普通株式 10,856株
(3) 処分価額	1株につき2,073円
(4) 処分価額の総額	22,504,488円
(5) 株式の割当ての対象者及びその人数並びに割り当てる株式の数	取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除きます。） 4名 10,856株
(6) その他	本自己株式処分については、金融商品取引法による有価証券通知書を提出しております。

2. 本自己株式処分の目的及び理由

当社は、2020年6月1日開催の取締役会において、当社の取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除きます。以下「対象取締役」といいます。）の報酬と当社の中長期の業績との連動性を一層高め、対象取締役と株主との価値共有を進めることにより、中期的な経営計画として公表している「経営改革プラン」に掲げた業績目標の達成と企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えることを目的として、勤務継続型譲渡制限付株式報酬（以下「本制度」といいます。）及び業績連動型譲渡制限付株式報酬を導入することを決議いたしました。なお、2020年6月29日開催の第97回当社定時株主総会において、本制度に基づき、譲渡制限付株式の交付のために対象取締役に対して年額25百万円以内の金銭報酬債権を支給すること、年19,000株以内の譲渡制限付株式を交付すること等につき、ご承認をいただいております。

詳細につきましては、下記のお知らせをご参照ください。

2020年7月30日公表「譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分に関するお知らせ」

3. その他

(1) セグメント別受注高・売上高・受注残高

①受注高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
成形機	18,443	8,178	△10,265	△55.7
工作機械	7,516	2,568	△4,948	△65.8
制御機械	1,800	1,430	△370	△20.5
報告セグメント計	27,759	12,176	△15,583	△56.1
その他	678	420	△258	△38.0
合計	28,437	12,596	△15,841	△55.7

②売上高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
成形機	16,828	12,944	△3,884	△23.1
工作機械	6,784	5,205	△1,579	△23.3
制御機械	1,667	1,632	△35	△2.1
報告セグメント計	25,280	19,782	△5,498	△21.7
その他	435	462	27	6.2
合計	25,715	20,245	△5,470	△21.3

③受注残高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
成形機	64,873	44,389	△20,484	△31.6
工作機械	24,960	14,740	△10,220	△40.9
制御機械	3,200	2,411	△789	△24.6
報告セグメント計	93,035	61,541	△31,494	△33.9
その他	1,983	570	△1,413	△71.2
合計	95,019	62,112	△32,907	△34.6

- (注) 1. 上記金額に消費税等は、含まれておりません。
2. セグメント間取引については、相殺消去しております。